

2010 年度日本建築学会大会(北陸) 関連行事

日本建築学会北陸支部主催

夜なべ談義 + 見学会 : 伝統をつなぐ

A. まちづくり夜なべ談義 / B. 勝興寺修理現場見学会 / C. 職藝学院見学会など

職藝学院見学会など

- 伝統技能と心の継承 -

伝統技能と現代技術を結び、
木造建築づくりの継承者を育成する実践教育の現場を見学し、
木造建築を支える職人教育の未来について考えます。

伝統技能と現代技術、そして職人の技“職”と職人の心“藝”をつなぐ『結』をシンボルマークとする職藝学院は、自然溢れる環境の中で日本の伝統の技と心を継承する大工と庭師の育成を進めています。

“実物”のものづくり実習では、今に先駆けた「完全リサイクル住宅」の建築を始め、多くの木造建築の新築・再生・修復などに取組み、2007 年には第 1 回「日本建築学会教育賞(教育貢献)」を受賞しました。その選定理由には“新たなものづくり教育の地平を果敢に開拓し実践している”とあります。

この企画はその実践教育をご覧戴くと同時に、木造建築を支える職人教育の在り方とその未来について共に考えたいと思います。

日 時 2010 年 9 月 12 日 (日) 14:00 ~ 16:30

会 場 職藝学院 (富山市東黒牧 298)

受付 / 話題提供・鼎談など ➡ 名匠情報センター棟 2 階 大研修室
実習見学 ➡ 実習棟、屋外実習場

内 容 見 学 大工と庭師の実習教育…………… 14:00 ~ 14:35

話題提供 司会…………… 14:45 ~ 15:30

高口 洋人 (早稲田大学理工学術院建築学科准教授)

「職藝人教育について」

稲葉 實 (学校法人富山国際職藝学園理事長)

「完全リサイクル住宅について」

中島 裕輔 (工学院大学工学部建築都市デザイン学科准教授)

「古民家再生について」

阿部 勤 (アルテック主宰)

鼎 談 「技能技術教育の未来」…………… 15:30 ~ 16:30

尾島 俊雄 (職藝学院学院長 / 早稲田大学名誉教授)

内田 祥哉 (内田祥哉建築研究室主宰 / 東京大学名誉教授)

渡邊美保子 (職藝学院教授)

講師プロフィール

話題提供



稲葉 實 Minoru Inaba

学校法人富山国際職藝学園理事長 / (株)三四五建築研究所代表

[プロフィール] 1938年富山県生まれ。1963年明治大学工学部建築学科卒業。1963年～三四五建築研究所、1970年同代表取締役。1996年学校法人富山国際職藝学園理事長、職藝学院教授。2007年日本建築学会教育賞(教育貢献)受賞、その他受賞多数。
その地域と場の不易・流行を見極め、温故知新をモットーに“結”の知恵と力をもって、いえづくり・まちづくりの創造をめざす。
主な著書に「住まいと街なみ百年のあゆみ」「住まいのとやま学」「富山の建築百選記念誌“百の共感”」「とやま住まい考」など。



高口 洋人 Hiroto Takaguchi

早稲田大学理工学術院建築学科准教授

[プロフィール] 1970年京都府生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院博士課程修了。工学博士。1999年早稲田大学助手、2004年九州大学人間環境学研究院特任助教授、2007年より現職。
建築や都市の省エネルギー・新エネルギー導入戦略が専門。
主な著書に「完全リサイクル型住宅Ⅰ～Ⅲ」「地方都市再生の戦略」「健康建築学—健康で快適な建築環境の実現に向けて」「民家再生の魅力」など。民家再生活動などにも取り組む。



中島 裕輔 Yusuke Nakajima

工学院大学工学部建築都市デザイン学科准教授

[プロフィール] 1972年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院博士課程修了。工学博士。2000年早稲田大学助手、2003年工学院大学講師、2006年より現職。専門は建築・都市環境工学。
住宅の省エネ技術、環境建材の開発から、建物のエネルギー分析、都市のヒートアイランド対策まで幅広く携わっている。
主な著書に「完全リサイクル型住宅Ⅰ～Ⅲ」「都市環境学」「民家再生の技術」「畑がついているエコアパートをつくらう(コラム)」など。



阿部 勤 Tsutomu Abe

アルテック主宰 / 日本大学芸術学部非常勤講師

[プロフィール] 1936年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。1960～1971年坂倉準三建築研究所、その後戸尾任宏・室伏次郎と共に建築研究所アーキビジョン、室伏次郎とアルテック建築研究所を設立、1984年アルテック設立。1985年日本建築家協会新人賞、2004・2007・2008・2009年日本建築家協会25年賞。著書「くうねるところにすむところ[中心のある家]」「インデックスコミュニケーションズ」「住宅特集2010年8月号」“特集 時間を織り込む設計”の中で「平和台の民家」を発表。
左の写真は尾島敦「家のワークショップ」(ワールドフォトプレス)。

講師プロフィール

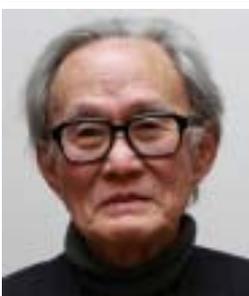
鼎談



尾島 俊雄 Toshio Ojima

職藝学院学院長 / 早稲田大学名誉教授

[プロフィール] 1937年富山県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業・同大学院博士課程修了。工学博士。1965年早稲田大学専任講師、1969年同助教授、1974～2008年同教授。1996年～職藝学院学院長。日本建築学会会長などを歴任。「都市環境工学の発展に対する貢献」で日本建築学会大賞受賞、その他受賞多数。著書多数で主な近著は「完全リサイクル型住宅」「この都市のまほろば」など。現在、完全リサイクル住宅、未利用エネルギー利用、ヒートアイランド現象解明など、地球環境問題の諸課題「未完のプロジェクトX」に取り組む。



内田 祥哉 Yoshichika Uchida

内田祥哉建築研究室主宰 / 東京大学名誉教授

[プロフィール] 1925年東京都生まれ。東京帝国大学第一工学部建築学科卒業。工学博士。逓信省営繕部などを経て1956年東京大学助教授、1970～1986年同教授、1986～1996年明治大学教授。1997年金沢美術工芸大学特認教授。日本建築学会会長などを歴任。「建築構法計画に関する一連の研究および設計活動による建築界への貢献」で日本建築学会大賞受賞、その他受賞多数。主な著書に「建築構法」「建築生産のオープンシステム」「在来構法の研究－木造の継手仕口について」「日本の伝統建築の構法」など多数。



渡邊美保子 Mihoko Watanabe

職藝学院教授 / 職藝基礎研究センター研究員

[プロフィール] 福島県生まれ。共立女子短期大学英語専攻、東京農業大学農学部農学科園芸科学コース、The Royal Horticultural Society's Garden Wisley 園芸学校(英国)卒業。園芸コンサルタント、公共庭園・個人庭園作庭等を経て2002年職藝学院常勤講師、2008年より現職。専門は宿根草を組合せた庭園設計・施工・管理。生物の多様性を生み出す少量多品種植栽や有機無農薬で管理できる持続可能な庭園デザインを目指す。

「完全リサイクル住宅」の概要

用途: 完全リサイクル実験のためのモデル住宅 **構造:** 木造 2 階建て軸組構法 **延面積:** 252.29 m²

設計: 〈基本〉早稲田大学尾島俊雄研究室 / 〈実施=総合・建築〉職藝学院 / 〈実施=設備〉エム環境デザイン

施工: 〈新築 1998 年〉職藝学院第 2 期生実物実習 / 〈解体・再建築 2000 年〉職藝学院第 4 期生実物実習

仕様: 〈建築〉土台=桧 150×105、柱=杉 180×180～120×120、横架材=松(丸太・角材) / 屋根=日本瓦、外壁=土壁・漆喰、断熱材=珪藻土、木部塗装=紅殻・柿渋、犬走り=三和土 / 〈設備〉太陽集熱器[10 m²]、太陽電池モジュール[5.7kw]、雨水再利用[貯留 2t]、混焼ボイラー、蓄熱床、コンポスト、段差解消機、天井走行機など

リユース率(重量比): 全体96.1%、木材99.8% **LCCO₂(在来工法との比較、設備を除く):** 総量 = 38.4% **エネルギー削減率(在来工法との比較):** 上水 = -21%、電力 = -38%、ゴミの敷地内利用 = 58%

会場のご案内（職藝学院 東黒牧キャンパス）



職藝学院への交通案内

【東京から】

- 飛行機/東京[羽田空港]→富山空港(全日空 約55分)
- JR特急/東京駅-[上越新幹線]→越後湯沢駅
-[北越北線・北陸本線]→富山駅(約3時間10分)

【大阪から】

- JR特急/大阪駅-[湖西線北陸本線]→富山駅(約3時間30分)

【名古屋から】

- JR特急/名古屋駅-[東海道・北陸本線]→富山駅(約3時間20分)

【富山空港から】

- 自動車/富山空港→職藝学院(約20分)

【富山駅から】

- 自動車/富山駅→職藝学院(約30分)
- バス/富山駅→富山国際大学行終点→職藝学院
(バス 約40分+徒歩 約500m)

【富山I.C.から】

- 自動車/富山I.C.→職藝学院(約20分)



〒930-1298 富山県富山市東黒牧 298 (問合せ 9:00~17:00 土曜・日曜・祭日を除く)

E-mail info@shokugei.ac.jp URL www.shokugei.ac.jp

TEL (076) 483-8228 FAX (076) 483-8222



携帯QRコード